平成３０年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立南第一小学校

１．本年度の学力・学習調査結果の概要について

・国語の書く能力を問う問題についてはおおむね良好な結果でしたが、話す・聞く能力を問う問題に課題が見られました。
・算数については、Ａ問題で無解答０と健闘していましたが、数量を関連付けて記述する解答の仕方に課題が見られました。
・理科では、自然事象についての知識・理解はあるものの、科学的な思考・表現を問う問題に課題が見られました。
・児童質問紙調査では、算数・理科・地域社会への関心が高い子どもが多くみられました。
・自尊感情や規範意識が高く、人の役に立つ人間になりたいと考える子どもが多くみられました。

２．各教科における成果と課題について

	成　果	課　題
国語Ａ〈主として知識〉	・漢字を正しく書くことについては正答率も高く、良好でした。 ・日常生活の中で使われている慣用句の意味を理解し、使うことはできていました。 ・書く能力を問う問題では、昨年度より正答率が 15 ポイント上がってました。	・文の中における主語と述語との関係などに注意して文を書く問題の正答率が３０％以下で課題が見られました。 ・相手や場面に応じて適切に敬語を使う問題に課題が見られました。
国語Ｂ〈主として活用〉	・目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして詳しく書いたり、自分の考えを明確にしながら読んだりする問題で、成果が見られました。 ・読む能力を問う問題の正答率が、昨年度より 13 ポイント高く成果が見られました。	・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる問題の正答率が３０％以下で課題が見られました。 ・必要なことを逃さず取り入れて記述で解答することに課題が見られました。
算数Ａ〈主として知識〉	・無解答率がすべて０％でした。 ・面積がそろっている二つのシートの込み具合を比べる方法や、角の大きさを問う問題の正答率が９０％を超えよくできていました。	・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味の理解に課題が見られました。 ・円周率の意味についての理解に課題が見られました。

〈主として活用〉 算数B	・数量や図形についての知識・理解を問う問題において、正答率が昨年度より大幅に伸び、成果が見られました。	・記述式の問題のに無解答率が多く、課題が見られました。 ・メモの情報と棒グラフを組み合わせたグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述することに課題が見られました。
理 科	・生命の区分で知識に関する問題や科学的な思考・表現を問う問題において正答率が７０％以上と成果が見られました。	・実験結果をもとに分析して考察し、その内容を記述する問題に課題が見られました。 ・予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基により妥当な考えに改善し、その内容を記述することに課題が見られました。

３．本校の学力向上に関する現在の取り組みについて

確かな学びを育む学校づくり推進事業

子どもの主体的・対話的で深い学びの授業づくりに取り組む。

人権総合学習

他者とのかかわりの中で自己肯定感を育む子どもの育成を図り、安心できる集団の中での学力向上をめざす。

習熟度別授業（少人数指導）

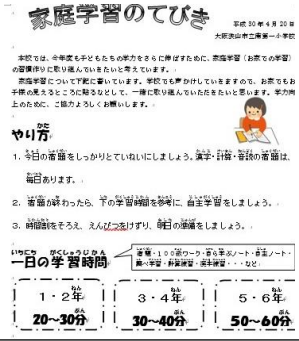
３年生から６年生の算数を中心に積極的に習熟度別授業を行い、きめ細かな指導の充実を図る。

ＩＣＴの活用

子どもの学習意欲を高めるＩＣＴを効果的に活用した授業改善に取り組んでいる。

一小タイム（自学自習力の育成）

月に一回スマイルチーム（縦割り班）で教えあいながら学習する中で自学自習力を育てる。



家庭学習のてびき

平成30年4月20日
大阪市立南百一小学校

本校では、今年度も子どもたちの実力をさらに伸ばすために、家庭学習（お家での学習）の習慣作りに取り組んでいきたいと考えています。
家庭学習について配に書いています。学校でも声かけしていますので、お家でもお手伝の見えるところに貼るなどして、一緒に取り組んでいただきたいと思います。学力向上のために、ご協力よろしくお願いします。

やり方

1. 今日の宿題をしっかりとていねいにしましょう。漢字・計算・音読の宿題は、毎日あります。
2. 宿題が終わったら、下の学習時間を参考に、自主学習をしましょう。
3. 時間割をそろえ、えんぴつをけずり、明日の準備をしましょう。

一日の学習時間

宿題・100級ワーク・自ら学ぶノート・自主ノート・漢字学習・計算練習・音読練習・・・など

1・2年	3・4年	5・6年
20～30分	30～40分	50～60分

基本的な生活習慣や学習習慣

「家庭学習の手引き」を配布し、家庭との連携を強めるとともに、早寝・早起き等基本的な生活習慣も身につくように発信する。

朝学習の充実

家朝の時間を活用し、月曜日と金曜日は朝学習、火曜日と木曜日は読書活動、水曜日は外国語（英語）や漢字や計算を行って、学力の向上を図っている。

読書活動の活性化

ボランティアによるお話し会の実施や小学生新聞の活用を通して、読書活動の充実を図り、本好きの子どもを育てる。

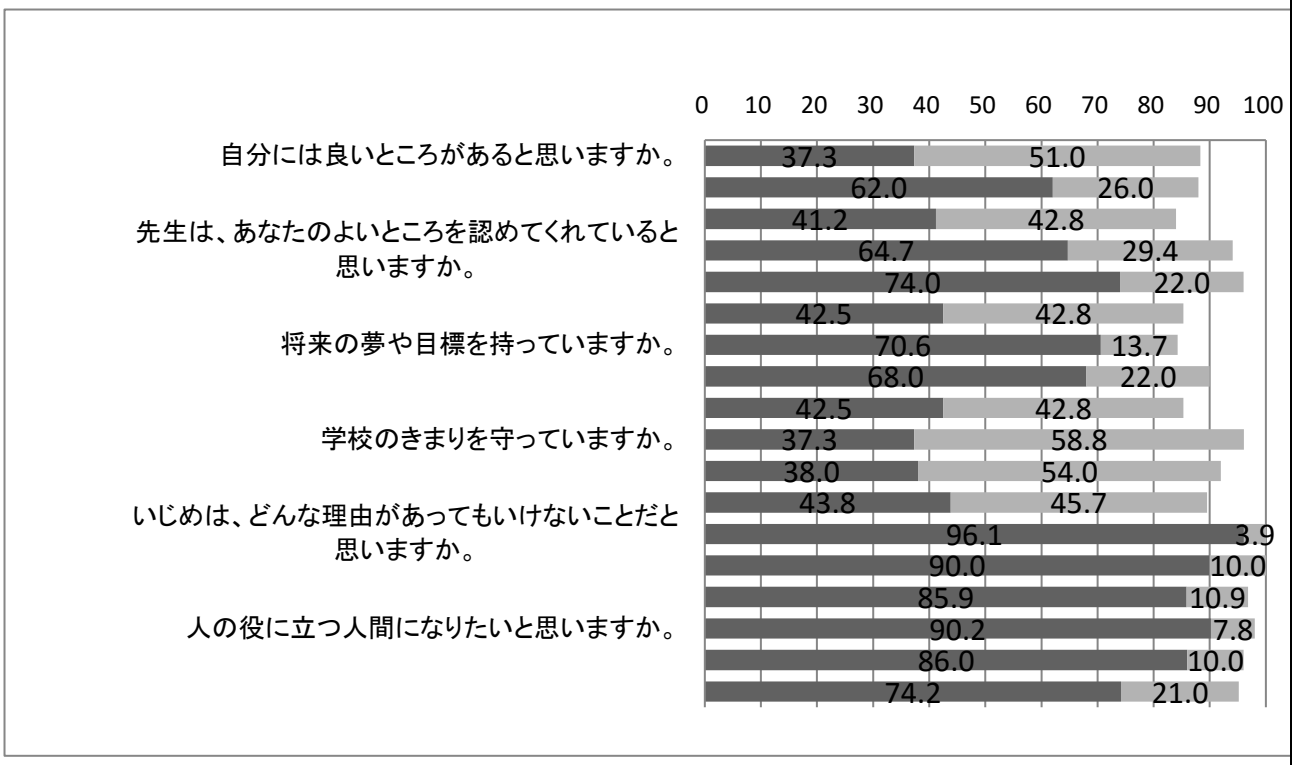
４．今後の取組みの方向性について

- アクティブ・ラーニングの視点による授業改善の取り組みを活性化し、子どもの主体的・対話的で深い学びの授業を実施します。
- 習熟度別指導等の少人数指導の充実を図り、きめ細かな指導を行います。
- 人権総合学習の取り組みを進め、自己理解と他者理解から互いに認め合える集団作りと、共に学んで育つ学力向上をめざします。
- スマイルチームの活動（縦割り活動）を通して、一人一人が互いに認め合える集団をつくり、安心して学校に通い、学習に集中できるように、全教職員が家庭と連携しながら取り組みます。
- 家庭学習や「100 級ワーク」「自ら学ぶノート」「自学自習ノート」に取り組み、自学自習力の向上に取り組みます。

５．児童質問紙調査の結果の概要

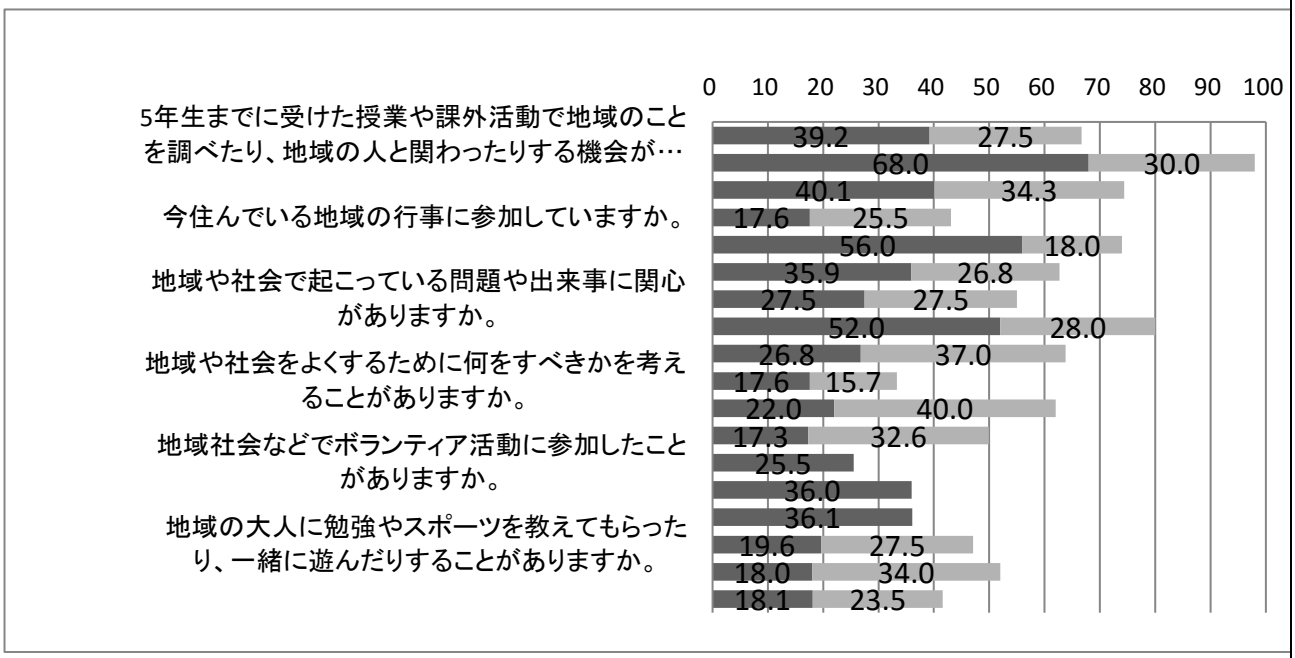
〈取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について〉

自分自身について（規範意識・自尊感情）：肯定的評価の割合（昨年・今年・全国比較）



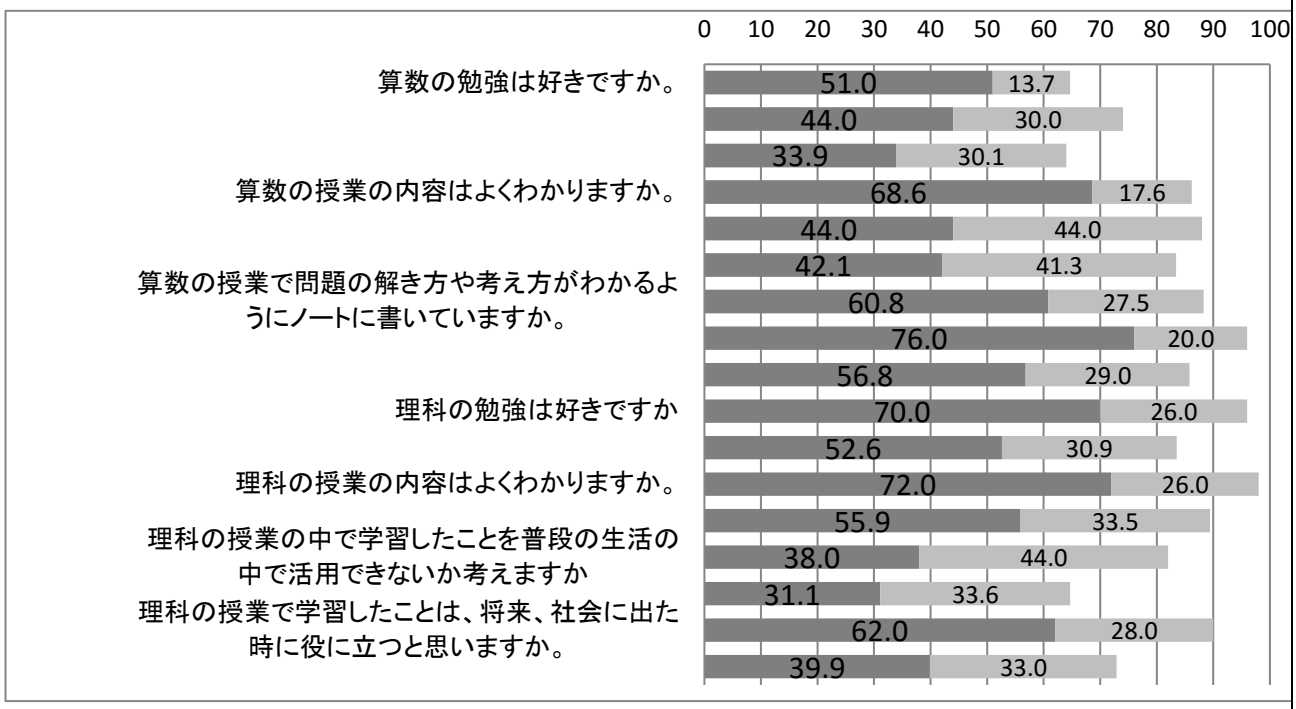
○昨年度に引き続き自尊感情が高く、全校でほめて伸ばす教育を推進している成果と考えられます。
規範意識も高く、いじめに対して昨年度同様に全員がいけないことだと答えていました。

地域とのかかわり：肯定的評価の割合（昨年・今年・全国比較）



○生活科や総合学習、社会科などで系統立てて地域について学習を積み重ねている。また、環境学習や人権総合学習で、社会において自分たちができることを考える学習を行っています。学校行事の中でも折に触れて地域の方々と接しています。昨年度以上に地域・社会に関心が高くなっているのは、それらの成果であると考えます。

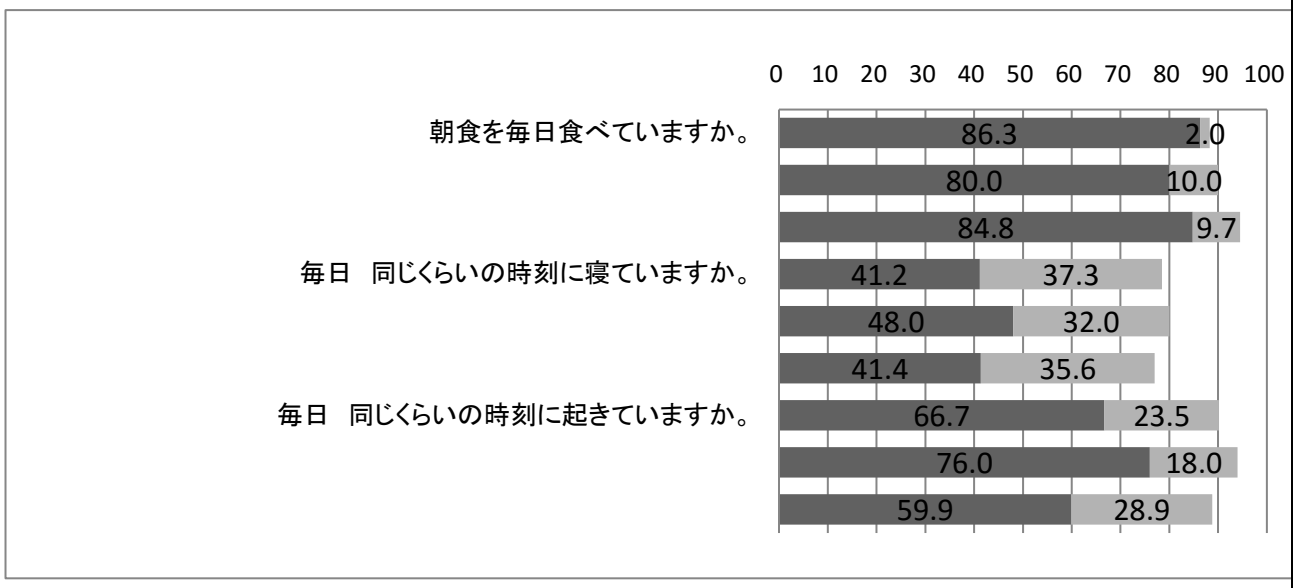
算数・理科の学習に関する状況：肯定的評価の割合（昨年・今年・全国比較）



○日々の授業改善をめざして校内研究に取り組んできた成果が表れ、児童の算数や理科の授業に対する興味関心はより高くなっています。

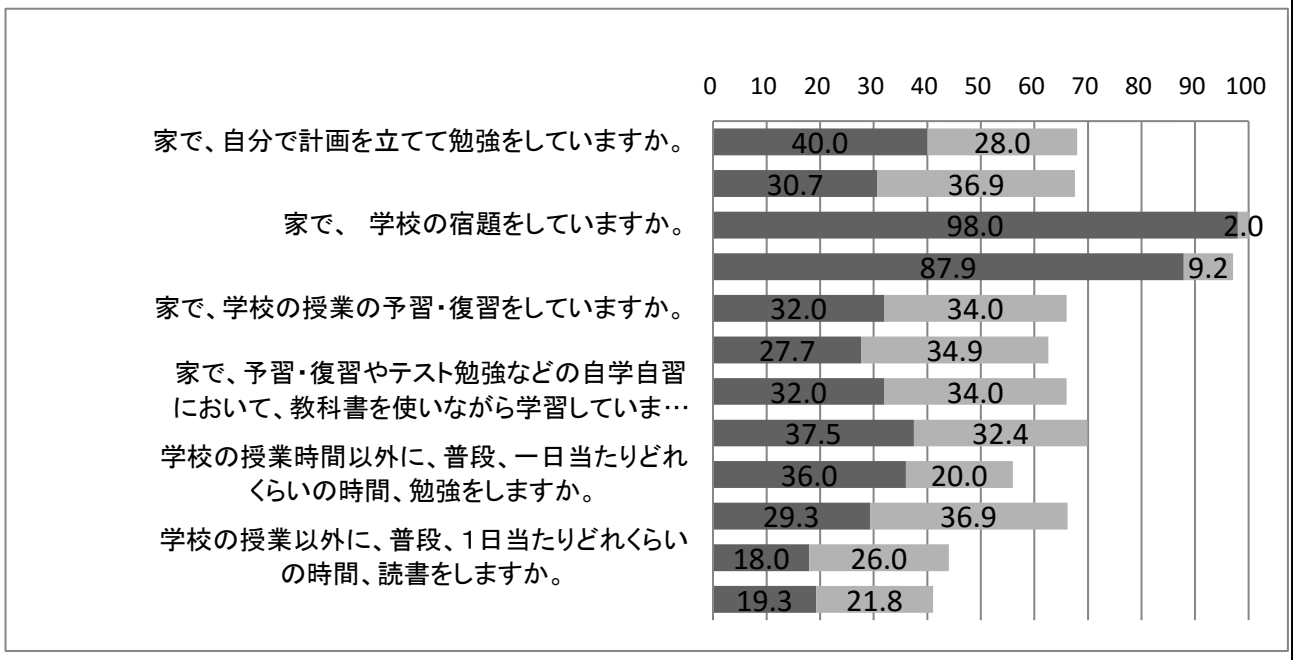
〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

生活習慣：肯定的評価の割合（昨年・今年・全国比較）



○朝食を食べて登校してきている児童の割合が全国に比べて低い。寝る時刻も不規則で、生活習慣に課題が見られました。

家庭学習



○宿題は全員がしていると答えており、予習・復習も全国に比べて少し上回っている。しかし、自学自習や一日当たりの勉強時間は全国を下回り、課題が見られました。

６．保護者・児童のみなさんへ

・国語では、日常生活で使われている慣用句の意味を理解して使うことや、漢字を正しく使うことはできていました。記述式の問題にも根気よく取り組むことができていました。しかし、文の中における主語と述語との関係などに注意して文を正しく書くことに課題が見られました。

・算数では、2 つの異なる量がある場合、単位量を設定することで比較できるという「比べ方」を理解するなど、数量や図形についての知識をもち理解できていました。しかし、日常生活の事象を、数量を関連付け、根拠を明確にして記述するなど、記述で答える問題に課題が見られました。

・理科では、観察・実験の結果を整理し分析して考察することはできていました。また、生命の分野で知識を活用することができていました。しかし、観察・実験の結果を整理し分析して考察した内容を記述することに課題が見られました。

・質問紙調査では、「算数や理科の勉強が好き」と答えている児童が多く、学習に対して主体的に取り組む姿が表れていました。また、「自分にはよいところがあると思う」と答え、将来に夢や希望をもち、人の役に立つ人間になりたいと思う児童が非常に多くいました。

・家庭学習も丁寧に行っていることがわかりましたが、自学自習や読書には課題がありました。これからは、宿題や予習・復習のほかに、読書や自学自習ノートにもしっかりと取り組んでいきましょう。